ビジョントレーニング教材パック７

内容・ねらい・材料	方法
①目と手でタッチ 【ねらい】 １）指示された色や数字、キャラクターを目で追ったり、手でタッチしたりできる。 【材料】 ホワイトボード、マグネットシート 	１）ホワイトボードに色、数字、キャラクターを貼る。（マグネットシートに描く） ２）教師が指示した数字や児童がタッチする。
②握り棒 【ねらい】 １）目の前で落とされた棒を握ってつかむことができる。（反射神経と目と手の協応を高める。） 【材料】 新聞紙、マスキングテープ 	１）児童は手を前に出す。 ２）児童の手の上に棒をスタンバイし、教師が棒を離す。 ３）落ちてきた棒を児童が握る。握った位置が高ければ点数が高い。
③棒輪投げ 【ねらい】 １）投げられた輪の動きを見て、棒を動かすことができる。 【材料】 新聞紙、マスキングテープ 	１）子どもが棒を持つ。 ２）教師が輪を投げて、子どもが棒でキャッチする。（輪の大きさは３種類）
④お手玉タッチ 【ねらい】 １）お手玉の動きを追視することができる。 ２）目と手を協応させることができる。 【材料】 ゴム、クリップ、お手玉 	１）教師が棒を持ち、上下左右に動かす。子供は、お手玉の動きを見てタッチする。（最初は見るだけでも良い。） ２）お手玉の代わりに風船などを使っても、動きが変わって面白い。 ３）ゴムを使うことで、お手玉の動きに幅が出る。（跳ねる動き）
⑤目の体操 【ねらい】 １）目の動きを高めることができる。（追従性、跳躍性、輻輳） 【材料】 割り箸、丸シール 	１）教師がシールのついた棒を１本持ち、子どもの目の前で縦、横、斜め、丸に動かす。（追従性） ２）色の違うシールのついた棒を２本持ち、子どもの目の前で提示する。教師は、色名を言い、子どもは色と同じ方の棒を見る。（跳躍性） ３）シールのついた棒を１本持ち、子どもの目の前に近づけたり、遠ざけたりする。（輻輳）
⑥転がし卓球 【ねらい】 １）ボールの動きを見て、打ち返すことができる。 ２）相手のことを考えて、ボールの強さを調整することができる。 【材料】 ピンポン球、カラーボード 	１）長机を使う。 ２）ラケットを持ち、２人でラリーをする。 ３）落としたら勝ちにする以外に、何回ラリーを続けられるかも競う。
⑦スーパーボールキャッチ 【ねらい】 １）跳ねるボールを見て、落下地点を予測することができる。 【材料】 スーパーボール、紙コップ 	１）コップ（難しければ素手）を持つ。 ２）教師がボールをバウンドさせて投げる。（ワンバウンドから始め、増やす） ３）コップまたは素手でキャッチする。